

# 看護部ニュース

R2.1月号

BLS研修編

4月に入職した新人看護師も10カ月を迎えようとしています。

日々業務に奮闘しているなか、BLS研修が行われました。

研修の前にグループ毎に神経衰弱を行います。救急カート内の物品や注射薬の写真とそれらの使用用途、効果の説明が書いてあるカードが合っていれば取ることが出来ます。正しい知識が身につけていれば沢山のカードをとれるはず！！

BLS研修でのシナリオは病棟で意識を失っている患者さんを発見したところから始まります。医師が到着するまでの間、「医療者としての一時救命処置」を行うトレーニングで、師長のお手本からスタートです。

意識、脈を確認、気道確保後、胸骨圧迫、手を休めることなくBVMを使って人工呼吸を行い、AEDで心肺蘇生を試みます。3-4人グループで協力して行いました。

実際に目の当たりにした際、正しい知識があれば自信をもって行うことができますので焦らず落ち着いて身に付けたいですね。



お手本



BLSって何？

BLSとは、Basic Life Support（一次救命処置）の略称です。一次救命処置とは急に倒れたり、窒息を起こしたりした人に対して、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引継ぐまでの間に行う応急手当のことです。

最近では一般的にも非常に注目されており、マスコミにも取り上げられている救命処置です。正しい知識と適切な処置が出来れば誰でも行うことができるため新人看護師の教育の中でも重要な項目の一つです。



国際医療福祉大学  
市川病院

〒272-0827

千葉県市川市国府台6-1-14

電話 047 (375) 1111

看護部サイトはこちら⇒

